日本漫画映画発達史・漫画映画誕生（1970）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　B&W
初公開日 1971/09/11
公開情報 東宝

【解説】
　日本に漫画映画（国産アニメーション）が誕生しておよそ半世紀を迎える中、戦前までの本邦アニメーションの歩みを紹介する趣旨で編纂された、一種のアンソロジーアニメ映画。
　映像の流れは、まず映画文化が誕生する以前からあった視覚ショー装置「ゾートロープ（和名・驚き盤）」の紹介からスタート。以下、大正三年の海外からの動画映画の本邦初上陸、国産アニメの開祖の一人・北山清太郎の『兎と亀』の映像……以下、版権ほかの事情で編集収録の叶った国産旧作アニメの主要作品が続々と映じられる。クライマックス部分はやはり政岡憲三の『くもとちゅうりっぷ』が担い、戦時中のこの傑作が、日本アニメ文化史における一つの到達点だった事実を再認識させる。
　映画の制作は時代劇ロマンアニメ映画『九尾の狐と飛丸（殺生石）』を手がけた、日本動画KK。多くのアニメ業界人、研究家が、制作に協力している。

【クレジット】
監督　藪下泰司
製作　中島源太郎
企画　飯田心美
　　斎藤宗岳
　　杉本五郎
　　田中純一郎
　　藪下泰司
脚本　飯田心美
撮影　岸本政由
音楽　宮下滋

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.